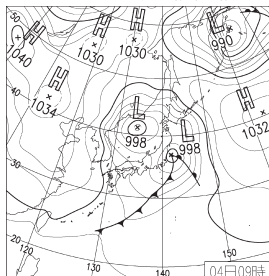


日々の天気図

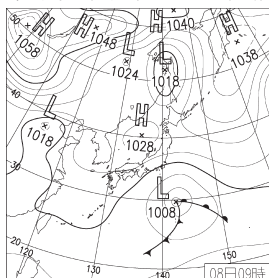
— No. 158

2015年3月

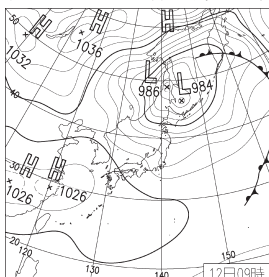
- ・北日本では暖かい空気が流れ込みやすく月平均気温が3月極値の高温(北海道の22地点中21地点)。
- ・9日、暖かく湿った空気の影響で福島県相馬の日降水量100mm。
- ・中旬～下旬、西日本日本海側は高気圧に覆われて晴れた日が多く、月間日照時間はかなり多かった。(気象庁予報部予報課)



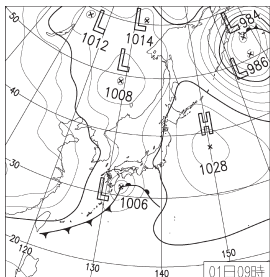
4日(木) 関東では気温高く
低気圧が東日本から北海道に進み東日本中心に広い範囲で雨、和歌山県新宮で40.5mm/1h。関東では最高気温が4月並の所多い。岐阜県、愛知県で震度4。熊谷市でウグイス初鳴。



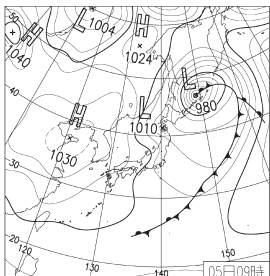
8日(日) 関東～東北で雨
低気圧の影響により関東～東北の太平洋岸は雨。八丈島八重見ヶ原で31.5mm/1hの激しい雨。北日本では気温が平年より高く、1月以降では2月23日に次いで2回目の真冬日ゼロ。



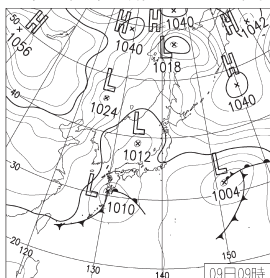
12日(木) 大荒れ次第におさまる
北海道付近の低気圧は次第に弱まったが北海道えりも岬で最大瞬間風速30.1m/s、北海道赤井川で日降雪量63cm。西～東日本は太平洋側を中心に晴れたが最高気温は平年より低い。



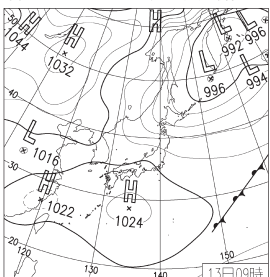
1日(日) 東海・関東で激しい雨
低気圧が発達しながら本州南岸を進み、東海・関東南岸や伊豆諸島で激しい雨。東京都三宅坪田で最大瞬間風速30.9m/s。西～東日本で最低気温が4月並の所も。



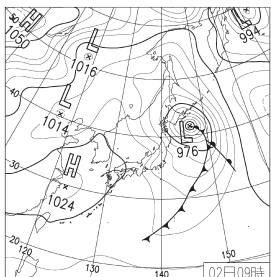
5日(木) 西から冬型緩む
発達した低気圧が千島近海を東進。沖縄・奄美は湿った気流で曇りや雨。西～北日本の日本海側は雨や雪の所あるが、太平洋側は晴れた所多い。山形県飛島で最大瞬間風速32.1m/s。



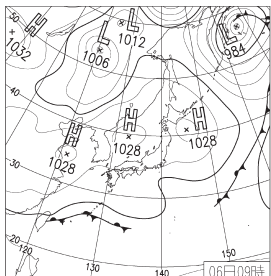
9日(月) 二つ玉低気圧
本州南岸と日本海の低気圧が急速に発達。鹿児島県種子島で最大瞬間風速30.2m/s。全国的に暖かく湿った空気が流れ込み雨。福島県相馬で日降水量100mmは3月1日更新。



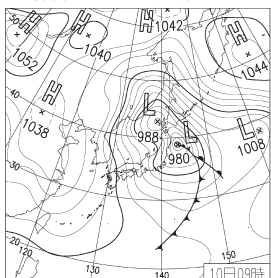
13日(金) 西～東日本は晴れ
高気圧に覆われて西～東日本や北日本の太平洋側は晴れ。北日本の日本海側は雪。鹿児島県喜界島の朝の最低気温5.0℃は平年より8.4℃低く、観測史上1位の記録を更新。



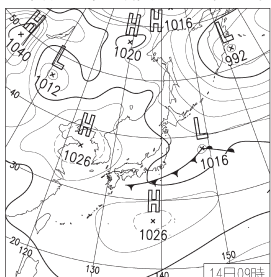
2日(月) 北日本を中心に強い風
低気圧が急速に発達。北海道東部では羅臼で最大瞬間風速37.9m/sなど所によりふぶき。栃木県那須高原でも最大瞬間風速32.7m/s。松山市、岡山市でウグイス初鳴。



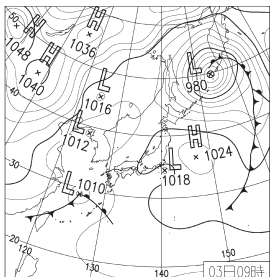
6日(金) 沖縄付近に前線発生
前線の影響で、沖縄・奄美や西日本～東日本の南岸では曇りや雨。日本海を高気圧が進み北陸や北日本では晴れ間も。奄美市、福岡市、前橋市、宇都宮市でウグイス初鳴。



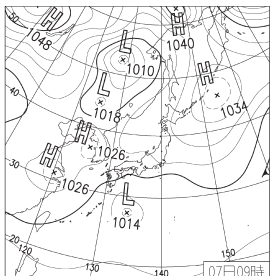
10日(火) 東～北日本大荒れ
急速に発達した低気圧は北海道付近～北海道大滝で日降水量195mmなど北日本では大雨。北海道えりも岬で最大瞬間風速36.8m/sなど東～北日本各地で最大瞬間風速30m/s以上。



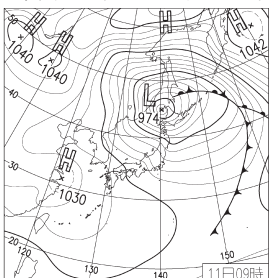
14日(土) 気圧の谷通過
前線や上空の気圧の谷の影響で、西～北日本の各地で雨。西日本では最低気温が前日よりかなり高く、福岡県朝倉で前日より10.7℃高い。一方、北海道厚真では8.1℃低い。



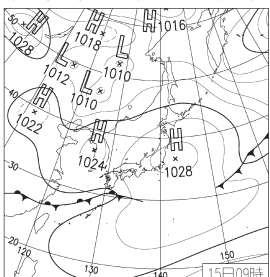
3日(火) 西から雨が広がる
低気圧が東シナ海から西日本南岸に進み西～東日本で雨。沖縄や西日本太平洋側で強い雨。高知県清水で45.5mm/1hの雨。北海道東部では強風続き羅臼で最大瞬間風速35.7m/s。



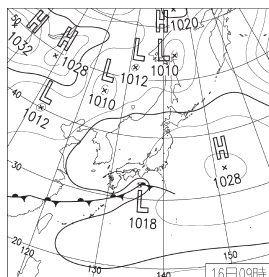
7日(土) 高松市でタンポポ開花
低気圧の影響で沖縄・奄美、西～東日本では曇りや雨。北日本は概ね晴れや曇りだが一部で雪。西～東日本太平洋側で最高気温が平年より低く、東京で平年より4.3℃低い8.2℃。



11日(水) 北陸～北日本大荒れ
発達した低気圧が北海道付近に停滞。強い寒気が流れ込み北日本の日本海側や北陸を中心に雪。山形県飛島で最大瞬間風速35.0m/sなど北陸～北日本を中心に全国的に風が強い。

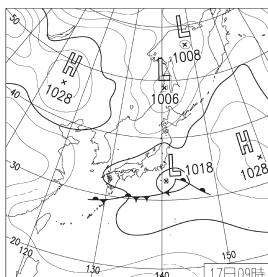


15日(日) 南と北で暖かい朝
西日本の南岸の前線を低気圧が東進。西～東日本は太平洋側を中心に曇りや雨。北陸～北日本は概ね晴れ。最低気温は沖縄・奄美で5月並、北海道は平年より10℃以上高い所も。



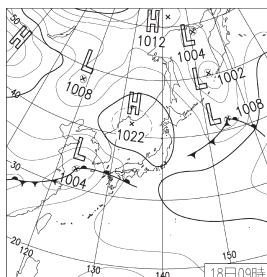
16日(月)低気圧が南岸通過

本州南岸を低気圧が進み、西～東日本の太平洋側を中心に雨。鹿児島県宇島で日降水量68.5 mm、日本海側や北日本では晴れて気温が上がり最高気温は4月並。



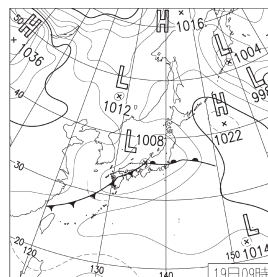
17日(火)晴れて気温は上昇

高気圧に覆われ全国的に晴れ。暖かい空気も流れ込み各地で気温が上昇。長野県軽井沢の最高20.5℃は平年差+13.3℃。瀬戸内海など霧が発生した所も。山形市などでウグイス初鳴。



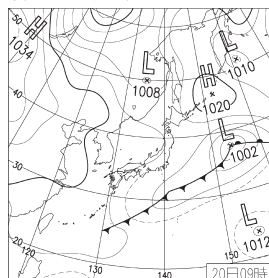
18日(水)西～東日本で雨

低気圧が東シナ海から日本海に進み西～東日本で強い雨や雷。暖かい空気が流入した九州は最低気温が5～6月並。日中は全国的に気温が高く、近畿～関東は最高気温が4～5月並。



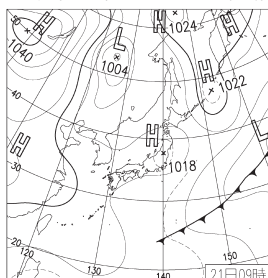
19日(木)全国的に雨

低気圧が本州を東進し、北海道を除く広い範囲で雨。最低気温、最高気温とも全国的に平年より高い。高知県魚梁瀬で日降水量111.5 mm。熊本県阿蘇山で日最大瞬間風速32.4 m/s。



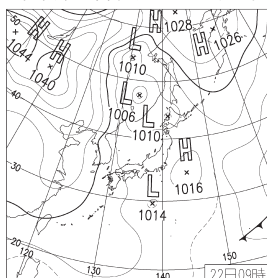
20日(金)各地で霧

沖縄・奄美と西日本～東北の内陸は高気圧に覆われ概ね晴れたが、沿岸は湿った気流により所々で雨。北海道は気圧の谷にあたり所々で雨や雪。午前中を中心に全国各地で霧。



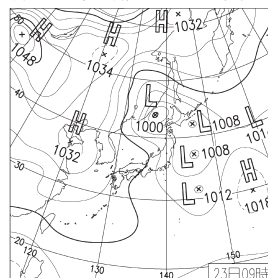
21日(土)九州・本州サクラ開花

西日本や北陸・北日本では晴れたが東海や関東などでは湿った気流の影響で曇り。鹿児島市、名古屋市でサクラ開花。九州南部、近畿、東海、関東で今年は春一番なしとなる。



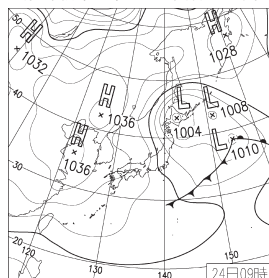
22日(日)各地で黄砂

先島諸島では曇りや雨。北海道では曇りや雪。その他の地方は高気圧に覆われ晴れ。鹿児島、大阪、秋田等各地で黄砂。福岡市、高知市、静岡市など6都市でサクラ開花。



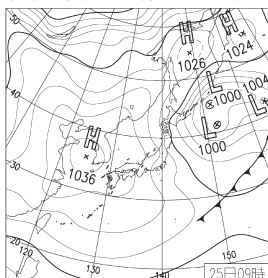
23日(月)冬型気圧配置へ

低気圧が北海道付近を東へ進んで次第に冬型の気圧配置へ。沖縄は湿った気流で夜に雨。北陸と北日本は雨や雪、その他の地方は概ね晴れ。岐阜市、横浜市、東京でサクラ開花。



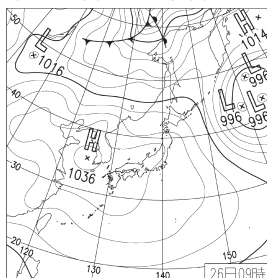
24日(火)冬型気圧配置強まる

北陸や北日本で降雪量30 cm以上の所も。北日本日本海側中心に非常に風が強く北海道稚内でも最大瞬間風速29.5 m/s。長野県で震度4。高松市、広島市でサクラ開花。



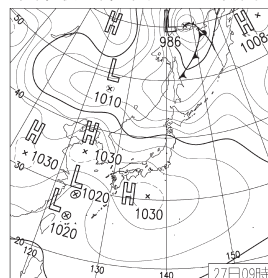
25日(水)冬型次第に緩む

沖縄・奄美は湿った気流による雨域が広がる。北陸から北海道も雪や雨だが、その他の地方は概ね晴れ。九州や四国では朝の最低気温が平年より6℃以上低い所も。



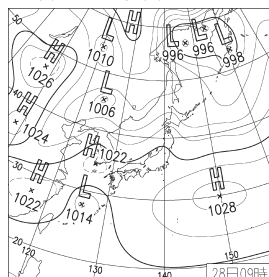
26日(木)全国的に概ね晴れ

高気圧に覆われ、湿った気流が入って曇が多い沖縄・奄美以外は全国的に晴れ。朝は前日より冷え込み西日本各地で平年より6℃以上低い所も。大分市、大阪市でサクラ開花。



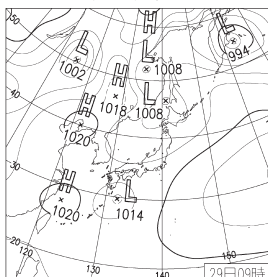
27日(金)北海道で気温高く

曇り一部で雨となった沖縄～九州を除き晴れて最高気温は平年より高い。特に北海道の26地点では最高気温が3月1位の高温。神戸市、京都市など5都市でサクラ開花。



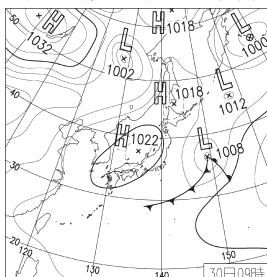
28日(土)さらに気温上昇

全国的に晴れ。北日本は最高気温が5～6月並の地点もあり、北海道の42地点で3月の1位を記録。岡山市など4都市でサクラ開花。室蘭市、網走市で黄砂。台風第4号発生。



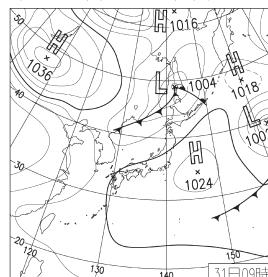
29日(日)東京でサクラ満開

西～北日本の所々で雨。日中は曇りや雨の地域を除き気温が上がり、北海道等の10地点で最高気温が3月1位の記録。松江市、津市でサクラ開花。福岡市と東京でサクラ満開。



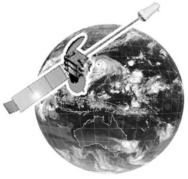
30日(月)暖かさ続く

ほぼ全国的に晴れ平年より最高気温が高い。東北地方日本海側と北海道オホーツク海側を中心に霧や雨の所も。水戸市など3都市でサクラ開花。名古屋市など6都市でサクラ満開。



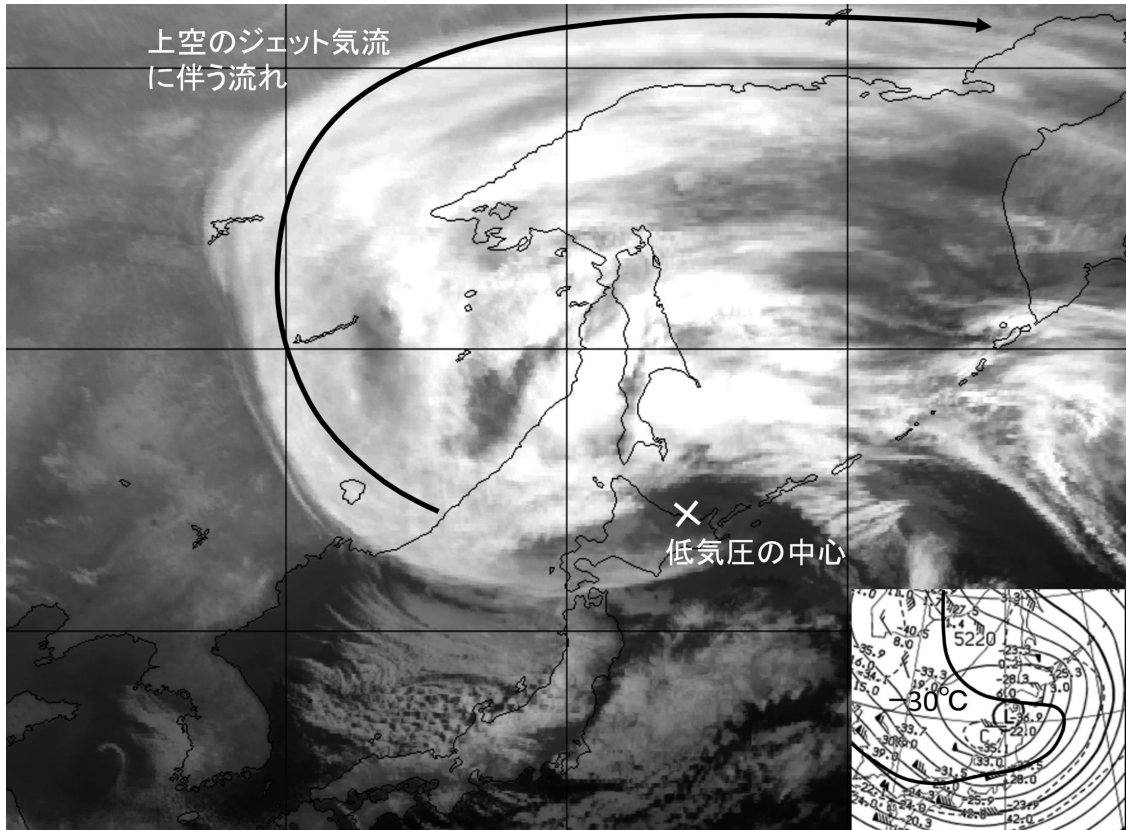
31日(火)西・東日本で夏日

九州と北海道は曇りや雨。その他の地方は高気圧に覆われ晴れ25地点で最高気温が3月1位の高温。兵庫県豊岡で26.0℃など西・東日本で夏日。横浜市など8都市でサクラ満開。



今月のひまわり画像—2015年3月

北日本に暴風雪をもたらした低気圧



第1図 2015年3月10日21時（日本時間）の赤外画像と500 hPa 面高層天気図（太実線は -30°C を表す）。

2015年3月10日～11日、三陸沖の前線を伴った低気圧が急速に発達しながら北上し、北日本を中心に暴風雪をもたらした。これにより、北海道を中心に家屋の被害や停電、交通機関の乱れなどが生じた。

第1図は、2015年3月10日21時（日本時間）の赤外画像である。網走付近（図中の×印）には、地上低気圧の中心が解析できる。この低気圧は、北日本にある寒冷渦（500 hPa で -30°C 以下の強い寒気を伴っている：第1図右下を参照）の接近により急発達したもので、寒冷渦の北西側にあたる日本海北部や沿海州から北緯60度付近の広範囲に、低気圧の発達期に現れるCiパルジ（高気圧性曲率を呈し、寒気側に凸状に膨らんだ上層雲域）が見られる。Ciパルジの膨らみは上空のジェット気流の流れに沿って顕著となってお

り、低気圧が非常に発達していることを示唆している。

北海道ではこの低気圧により、10日～11日にかけて、沿岸部を中心に 20 m/s 以上の強風が観測された。北海道の内陸部でも10日、アメダス観測地点である志比内と美瑛でそれぞれ 13.9 m/s と 14.5 m/s の南東の風が吹き、同地点における日最大風速の観測史上1位を更新した。また、10日～11日にかけて3月の日最大風速が1位を更新した地点は16箇所に及んだ。

低気圧はこのあと、12日にかけて寒冷渦の直下に入ってからさらに発達し、寒冷低気圧となって北海道付近にほとんど停滞した。このため、北海道では降雪が続き、10日～12日にかけて日本海側や太平洋側を中心に、日降雪量が 40 cm を超える地点もあった。

（気象庁予報部予報課航空予報室 大野滋規）